

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスBuddy堺なかもず		
○保護者評価実施期間	2025年 6月 2日		2025年 6月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 6月 2日		2025年 6月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが十分に確保できている	勉強や個別、座ってでの集団プログラムは2階で行い、1階ではのびのびと体を動かすことができる運動スペースの環境を整えている。 静と動の環境を作り、気持ちの切り替えがスムーズにできるように工夫している。	注意散漫な児童がより宿題や課題に集中し、取り組むことができるような環境づくりを考えていく。
2	活動プログラムが固定化されないよう工夫している	療育の5領域(人間関係・社会性、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、健康・生活)を集団プログラムに取り入れている。児童は固定曜日で利用してもらっている為、毎週同じプログラムにならないように組んでいる。様々な分野からの職員が集まっている為、児童に楽しんでもらいながら取り組める内容を職員で意見を出し合い作成している。	今後は保護者様の意見を取り入れながら、必要な療育課題を考えていきたい。
3	支援前は昨日の振り返り、本日の児童の共有や活動内容、役割分担について確認しチームで連携し支援を行っている。	職員全体で共通理解ができるように、打ち合わせは必ず行っている。児童に対して同じ方針で療育ができるようにしている。	職員が自分自身の療育の振り返りもしていくことで、事業所としての療育の向上に努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会や保護者会、ご兄弟が交流できる機会がない	実際に父母会や保護者会、兄弟が交流する機会は一度も作ることができていない。	イベントにご家族様も参加していただいたり、保護者同士の交流を促す保護者会を検討していきます。
2	ご家族様も参加できる研修会等の情報提供の機会がない	開所し1年経たないことから、研修会等は実施できていない。	他事業所から情報をいただきながら、今後検討していく。
3	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がない	連携をとり、交流する機会を作ることができていない。	第一段階として、兄弟児も一緒に参加できるイベントを検討していきたい。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスBuddy堺なかもず

公表日 2025年 10月 15日

利用児童数

13名

回収数 11名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1				
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	4	1			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10		1			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	1			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	7	2			
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	3				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	2				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	4				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	6				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスBuddy堺なかもず

公表日 2025年 10月 15日 回収数10名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	1階が運動スペース、2階が宿題や集団プログラムに参加するスペースに分かれ、十分な広さを提供することができている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	適切に人員配置されている。休みの職員が出た場合は、代わりの職員を要請し配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	手洗い場やトイレ、児童が入ってはいけない場所に関してはイラストを貼り、視覚的に知らせている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2		毎日掃除機はするが、同時に床の拭き掃除を行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	心を落ち着かせる時は、指導員と一緒にクールダウン室を活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	児童の様子や支援について話し合う場を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	保護者の意向を共有し、より良い支援ができるよう職員で話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	代表や児童発達管理責任者との面談を通し、業務の改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		現時点では第三者からの外部評価を行っていない為、今後実施できるよう検討している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	ジョブメドレーアカデミーを取り入れ、学びたい研修内容を学んでいる。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	プログラムを作成し、HUGアプリで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	作成前に保護者と面談を行い、ニーズや課題を反映している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	職員全体で児童について話し合い、共通理解ができるよう努めている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	支援計画を職員全体で共有し、計画に沿った支援をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	利用している児童の様子を考えた上で、意見を出し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	繰り返し支援が必要な場合は、同じプログラムを入れる場合がある。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	一人一人に必要な課題(微細運動、食具、読み書き、気持ちについて等)は個別療育で実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	朝礼で児童の様子を共有し合い、支援中も声を掛け合い行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	朝礼で昨日の支援の振り返りをし、業務日報に記録している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	業務日報に記録し、職員がいつでも振り返りできるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	児童に合った計画が実践されているか、職員全体で定期的に見直ししている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者も現場に入り支援しているため、児童の様子を理解している。その為、基本的には児童発達支援管理責任者が参加し他の職員に共有している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	必要に応じて連携をとっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	必要に応じて連携をとっている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	0		今後は積極的に連携をとっていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	6		現在は機会がないので、今後は積極的に連携をとっていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎の際に申し送りを行い、提供記録に事業所での様子を写真とコメント付きで保護者に配信している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4		現在は行っていないが、今後は検討している。	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	契約時に保護者に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	聞き取りや面談の際に、児童や保護者の意向を聞き作成をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	対面や電話を通じて、保護者に説明を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	保護者の要望に応じ、対面や電話で相談を応じることがある。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	7		保護者参加型のイベントや保護者会等、現在検討している。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	相談があった際には、迅速に対応するように努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	集団プログラム表を、アプリで毎月配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	職員には事業所での個人情報の取り扱いについてを周知し、個人情報の書類については鍵付き書庫に保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	文面ではなく直接の説明や、相談支援員を通じて伝えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8		現在は行っていないが、今後は検討している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	緊急時対応マニュアル・感染症マニュアルは契約時に配布している。また、月に1度は避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	契約時の聞き取りの際に、情報を収集している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	アレルギーがある場合は、完全除去をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハット報告書を記入し共有し、再発防止に努めている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	研修にて学び、虐待防止に取り組んでいる。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2	契約時に保護者に説明を行っている。		